

銭塘三町内子ども会 活動レポート

2022. 3. 13

子ども会会長 田中 晶子

副会長 中村 美久

2021 年度の子ども会のレクレーション等の活動が、ほぼできない状態が続いておりました。4 月の初めに総会をし、子ども主体の活動を支援すべく年間計画を立てたものが、ほぼできずに 1 年経過しようとしていました。本子ども会がある天明地区も年々世帯数の減少する状況にあり、いよいよ小学校と中学校が統合するという話が進んでおります。子ども会の会員も 3 月に 6 名の卒業生を送り出すと、一気に人数が減少するという状況です。子ども会役員で話し合い、何かちょっとしたことでも子ども達のためにできないか、そしてこの銭塘三町内の友達と楽しい思い出を作れないか、と企画した活動を紹介させて頂きたいと思えます。コロナ禍であるため、1). 短時間で行える活動であること、2). 密になりづらい活動であること、しかし、3). 思いっきり楽しめること、に注意を払い活動を行いました。

活動テーマ

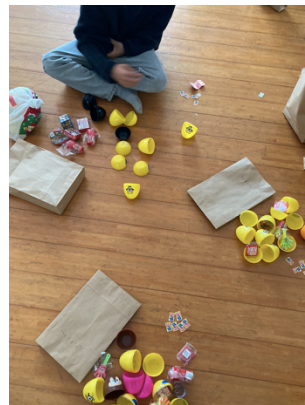
「お別れ会および歓迎会：イースターエッグハンティングで思い出作り！」

準備：2022. 3. 6（日）13:30～

5 年生と役員でイースターエッグの中にくじ引きを入れたり、当日の段取りを決めたり、話し合いを行いました。準備するのワクワクします。

当日(2022. 3. 13(日)三町内公民館にて 13:00～

イースターエッグハンティングはそもそも 4 月に行うことが多い行事ではありますが、その活動の意味やルールの説明を 5 年生にしてもらいました。それから、みんな部屋の外に出て、その間に 5 年生がくじ引きの入ったエッグカプセルを部屋中に隠します。準備 OK の合図で、ハンティングスタートです！



エッグカプセルの中にはくじ引きが入っています。最後は、くじ引きの景品を受け取って終了です！30 分間ほどの会でしたが、年度末にやっとできた活動でした。コロナ禍で翻弄されることもたくさんありましたが、最後にこの活動ができ、このことが子ども達の思い出として心に残ってくれると嬉しいです。最後にみんなが笑顔になれたので良かったです。

《 事務局から 》

事務局長 白石和典

- ① 子ども会の活動レポート有り難うございました。写真、そしてレイアウトまできちんとまとめていただき有り難うございました。しかも、行事があったその日に報告していただき驚いています。
- ② コロナ禍でなかなか行事ができない中に、「子ども達のために何かできないか」「友達と楽しい思い出を作れないか」と企画されました。子ども達を思うその熱意に敬意を表します。子ども会活動の2つの理念（キーワード）の一つ「かわいい子には体験を！」を正に実践しておられることになります。
- ③ イースターエッグハンティングとは何だろうと、参加者が先ず疑問に思うだろうことを、5年生 が説明し、ゲームの準備をするなど、子どもが主体となって活動することは大変意義深いことです。 正に、もう一つのキーワード「子どもによる 子どものための 子ども会活動」の実践です。
- ④ 「最後にみんな笑顔になれたので良かったです。」とありますが、子ども達の喜ぶ姿が見られて役員の皆様方の思い、今までの努力、苦勞が報われたのではないのでしょうか。
- ⑤ コロナ禍、少子化という逆境の中ではありますが、銭塘3町内子ども会の益々の発展と子ども達の健やかな成長をお祈りいたします。・

